

ガーデンシティふかや推進室 [ふかや緑の王国・深谷市榎引24-2(花植木流通センター隣)] ☎551-5551

花を愛し、人を愛し、地域を愛するまちづくり!!

メイン会場は深谷テラスパーク

今回の花フェスタは、会場を令和4年5月にオープンした深谷テラスパークに移して実施します。花フェスタ会場では、ガーデニング教室、ガーデニングコンテストの作品展示、ステージイベント、飲食や物品の販売などが行われます。また、期間中には深谷オープンガーデン仲間によるオープンガーデンも開催されます。皆様のご来場をお待ちしております。



4月29日祝
30日

午前9時～午後4時
(30日は午後3時まで)

会場 深谷テラスパークほか
(深谷市黒田41)

第20回
ふかや花フェスタ
& オープンガーデンフェスタ

20TH FUKAYA FLOWER FESTA & OPEN GARDEN FESTA



今年は50軒のお庭がオープン予定



ガーデニングコンテスト



オープンガーデン



ステージイベント

春のハンギングバスケット教室参加者募集

春から夏にかけて楽しめるペチュニアやオステオスペルマムなどの花を使って、壁掛けタイプのハンギングバスケットを作りませんか。

とき 4月12日(水) 午前10時～正午 ところ ふかや緑の王国

定員 先着20人 参加料 3,000円(材料費を含む)

講師 柳清子氏(ハンギングバスケットマスター)

申し込み 3月15日(水) 午前8時30分から電話でふかや緑の王国へ(1回の申し込みで2人まで)



作品イメージ

『ガーデンシティふかや』『ふかや緑の王国』ホームページのほか、ツイッター(@garden5551)、『ふかや緑の王国』フェイスブックもご覧ください。



ふっかちゃん子ども福祉事業

「ふっかちゃん子ども福祉基金」を活用して下記の助成事業を実施しています。詳しくはお問い合わせください。

	軽度・中等度難聴児 補聴器購入費助成	障害児療育経費助成	障害児スポーツ助成
助成内容	補聴器を購入する費用の一部	障害児が医師の指示のもと実施される専門性の高い療育事業に参加した場合、その経費の一部	障害児が行う障害者スポーツに必要な補装具・用具・消耗品の購入費用など
助成対象	次の要件すべてを満たす18歳年度末(18歳に達する日以降の3月31日)までの難聴児①深谷市に住所を有する②両耳の聴力レベルが25デシベル以上で、身体障害者手帳の交付対象とならない③装用により言語の習得など一定の効果が期待できると医師が判断	次の要件すべてを満たす18歳未満の障害児または障害児の保護者①障害児または障害児の保護者のいずれかが深谷市に住所を有する②対象の療育事業(音楽療法、ソーシャルスキル、ヴィジョントレーニングなど)に参加した	次の要件すべてを満たす18歳年度末(18歳に達する日以降の3月31日)までの障害児①深谷市に住所を有するまたは在勤、在学している②障害者スポーツに必要な補装具の購入・修理または用具・消耗品の購入
助成金額	購入する補聴器の種類によって異なります。	参加費用の2分の1(100円未満切捨て)※月額上限5,000円	<ul style="list-style-type: none"> 補装具などの購入または修理費の10分の9(年間上限50万円) 用具または消耗品費の10分の9(年間上限1万円)※4月より2分の1(年間上限4万円)
備考	購入する前に申請が必要です。	障害者手帳を所持していないかたも医師の意見書により助成を受けられる場合があります。	対象スポーツであれば部活などで使用する場合も対象(授業で使用する場合は対象外)。障害者手帳を所持していないかたも医師の意見書などにより助成を受けられる場合があります。

障害福祉課 ☎571-1011・☎574-6667

畠山重忠を知る

⑮よみがえる畠山重忠



武蔵武士の鑑

畠山重忠

畠山重忠の死後、その所領を相続した重忠の妻(北条時政の女)が足利義兼の子義純に嫁し、義純は畠山氏を名乗ります。一般に、重忠生前の系譜を平姓畠山、重忠没後の系譜を源姓畠山と呼びます。この源姓畠山の子孫は、室町時代には將軍を補佐して政務を統括する三管領の一つを務めました。重忠は没後も、記録や伝承、物語の世界を通して存在感を持ち続けました。これには、重忠の優れた人物像に加え、重忠を討ち、父である北条時政を追放するなどして政権を掌握していた北条義時、時の正統性を高めた幕府の思惑など関係していたと思われる。そして、

江戸時代には近松門左衛門作『出世景清』などさまざまな作品で常にヒーローとして登場し、明治時代には道德の教科書に模範的な人物として収められて重忠像が再生・定着していき、昭和に入ってから、顕彰事業により『重忠節踊り』『重忠太鼓』が生み出され、昭和54年には『埼玉の三偉人』の一人にも選ばれました。地元での顕彰活動の歴史は古く、畠山重忠公史跡保存会(現畠山重忠公顕彰会)は昭和3年に結成されており、地元で深く愛され続けてきたことが分かります。重忠は生前から『武蔵武士の鑑』として広く尊敬され、没後は伝説となりました。そして、大河ドラマ『鎌倉殿の13人』の放送を通して、伝説から身近な人物として私たちの前に現れ、強く人格も優れた『畠山重忠』という人物像が多くの人々の心を惹きつけたのは、今の混沌とした世の中を乗り切るための時代の要請かもしれません。重忠は、郷土の誇りとして、これからも私たちの心の中で生き続けるでしょう。【21】